

III Preserve Coat

標準施工仕様書

難付着サイディング仕様

製品名	プリザーブコートW(難付着サイディング仕様)
種別	水性2液反応硬化形無機クリアー塗料
荷姿	16kg/セット
用途	外部壁面
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング、焼付金属サイディング

工程	材料	調合	所要量/㎡/回 (塗布面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使用時間 (23℃)	
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。							
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	クリアベースハイパー[水性タイプ]、またはクリアベースハイパー[油性タイプ]をご使用ください。							
上塗り	プリザーブコートW	主剤 硬化剤	15kg 1kg	0.12～0.16kg (100～133㎡)	刷毛 ウーブンローラー	2	4時間以上	8時間以内
	清水	0～5%						

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品、水溶性溶剤製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 下塗りについてはクリアベースハイパーの標準施工仕様書をご確認ください。
- 上塗材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面で通して施工してください。
- プリザーブコートWは主剤と硬化剤をなじませるため、調合後5～15分程度静置してからご使用ください。
- プリザーブコートWは気泡の発生しやすいローラー(ハイパイルローラー等)を使用すると気泡が消えずに白濁する場合がありますので、ウーブンローラーをご使用ください。
- プリザーブコートWは溝の深いサイディングや粗面などに塗料が溜まると白く白濁して硬化します。塗料だまりがないよう均一に施工してください。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- 素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。
- 塗料使用の際は主剤と硬化剤の調合を守り、内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調割合守り十分に攪拌してください。調割合守を誤ると光沢が低下します。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりに不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しないように養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

第1版 2025.12.17 作成